

知の融合

町人学者のまち大阪と博物館・大学

平成23年4月1日、公立大学法人大阪市立大学と財団法人大阪市博物館協会は、知的・人的資源の交流や歴史・文化資源の活用などにかかわる幅広い連携事業を相互に協力して実施することにより、活力ある地域社会の創造、人材育成及び学術文化の向上発展に貢献することを目的に、包括連携協定を締結しました。大阪市立大学の各研究科・研究室と大阪市立の各博物館等は、従来から歴史や自然科学、文化政策などの分野で、それぞれの専門性を活かした共同研究などの活動を行ってきましたが、今回の包括連携締結を機会に、従来の連携を大きな枠組みに発展・強化し、学生や博物館利用者はもちろんのこと、広く市民や地域社会に貢献することをめざします。

本シンポジウムでは、上記の包括連携協定を契機とし、学問を大切にされた大阪の伝統をふまえ、大学と博物館の連携の方向性と具体像を市民の立場を交えながら考えてみたいと思います。

日時：平成23年5月15日(日) 13:00～16:45(12:30開場)

会場：大阪歴史博物館 4階 第1研修室

定員：100名(当日先着順)

参加費：無料

電車・バスでお越しの方
地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目駅」⑨号出口前
大阪市営バス「馬場町」バス停前



次第

【開会】あいさつ 西澤 良記(公立大学法人大阪市立大学 理事長・学長)

【第1部】基調講演 <13:10～>

協田 修(財団法人大阪市博物館協会 会長)
「大阪町人の学問と文化」

【第2部】大学と博物館 新たな連携に向けて <14:00～>

報告1 仁木 宏(大阪市立大学大学院文学研究科)
「なにわで学ぶ 都市×大学×博物館」

報告2 初宿 成彦(大阪市立自然史博物館)
「セミが結んだゼミとミュージー博物館と大学の共同研究一」

報告3 谷 直樹(大阪市立大学大学院生活科学研究科・大阪くらしの今昔館)
「博学連携のすゝめ」

報告者鼎談

【閉会】あいさつ 山本 重雄(財団法人大阪市博物館協会 理事長)

